

大切な「まちの宝」について調べたよ



パネルを掲げ観光客にガイドする児童

宮小6年生が臥龍ガイド

一之宮まち協だより

第24号

平成28年5月1日

一之宮町
まちづくり協議会
広報部

高山市一之宮町3087
電話 53-2424

臥龍桜が例年より1週間早く4月15日に満開となる中、宮小学校6年生による恒例の「臥龍ガイド」が4月18日に行われました。

このガイドは平成16年から実施され、今回で13回目です。

6年生は、事前に大幢寺の金岡勝一住職や元村長の大江哲雄氏、カーボテック飛驒の担当者らから、臥龍桜の歴史や傷んだ根を丈夫にした話、伊勢湾台風後の復活の様子などを学習してガイドに臨みました。

この日6年生26名は5〜6人1班で5班に分かれて、学習内容を「臥龍桜の歴史」「復活までの過程」などテーマ別に画用紙にわかりやすくまとめ、満開の桜を背に、大きな声でガイドをしていました。

1日限りの小学生のガイドに、「今日だけなんでもったいない！ガイドの話が聞けて良かった」という声も聞こえ、訪れた観光客等からは大変好評で、臥龍桜の鑑賞に小学生が一役買っていました。

《臥龍桜》

国指定天然記念物のエドヒガンザクラで樹齢は約1100年とされる。伊勢湾台風やその後の台風などで枝が折れ、根腐れなどで枯死の危機もあったが、住民らが土壌改良などに取り組み、樹勢を復活させた。

宮 再発見! 常泉寺川の桜並木

さな野草、ノビルやふき等の山菜もあります。また水無神社周辺の土手には芝桜が広がり、清流では梅花藻(バイカモ)が青々と揺れ、風に吹かれた花びらが川面に浮かんでゆらゆら流れいく…。そんな風情ある常泉寺川の桜並木は今年も満開です。(広報部 牛丸 朋子)

風情ある川辺の散歩コース

位山から一之宮町を一望すると桜が多く、花の季節を長く楽しむことができます。

源流の澄んだ水と、川のほとりから湧き出る水が繋がり、水無神社の境内前を通過して宮川に合流する常泉寺川。

その川沿いには濃いピンク色をした八重咲きのヤエベニシダシヤ、薄紅色のヤマサクラの桜並木が約400本広がります。

いつの時代も桜の優美さに人は心を打たれますが、昔は、サクラの「サ」は農事をつかさどる神のこと、「クラ」はものを納める場所として、桜は「農耕の神が宿る木」と言われ、蕾が膨らむと田畑を鋤(す)く(掘り返すこと)準備をし、満開になればそろそろ山菜がでる時期だと言いつたそうでした。

優しい桜色に見とれながら常泉寺川沿いを歩いていると、周辺にはムスカリやネモフィラ、すいせんやたんぽぽの可愛い小



散歩コースの常泉寺川沿いを彩る桜並木

まちよな



一之宮の桜を守り

伝統文化を伝える

問坂 義一 さん (問坂上)

今年も臥龍桜をはじめ一之宮にある桜がきれいに咲きました。今月は「桜を守る会」の会長であり、高山市無形文化財の「宮笠」の伝統工芸者として宮笠の製作や伝承に尽力されている問坂義一さんです。

問坂さんの住んでみえる問坂地区では、昭和の20年代頃まで、農閑期の冬には地区総出で宮傘を作っていたそうです。戦後の最盛期には、午後10時頃まで夜なべをして、朝は4時頃から朝くさ(朝食前の仕事)をしている家々の灯りがよく見えたそうです。そうして作られた宮笠は、駅から汽車で富山にまで出荷されていました。



満開の臥龍桜と問坂さん

会の20数名が伝統工芸を傳承しようとして問坂さんから指導を受けています。そうした伝統工芸の傳承活動貢献が認められ、問坂さんは平成26年に県から伝承顕彰の認定を受けられました。さて「桜を守る会」については、例年より1週間早く、15日に満開を迎えた臥龍桜の前でお話をお聞きしました。

会の主な作業は、雪で折れた枯れ枝の手入れやテングス病の枝の除去など、春と秋の手入れの2回だそうですが、15名みえる会員が、日頃から桜の木の様子を見守って手入れの内容を決めているそうです。今年も3月に手入れをされました。

特に宮川、常泉寺川の堤防沿いの桜を見守っているそうです。どこが一番の見どころですかと聞くと、駅前通りと本通り、常泉寺沿いとみんなよいが、一之宮橋から見る堤防の桜がきれいだと行って見えました。会の皆さんは、きれいに咲くのを楽しみに作業をしてみえるそうです。ちなみに、臥龍桜の手入れについてお聞きしましたが、臥龍桜は国の指定になっているので簡単には手入れできないそうです。

会を通じて地域の桜を守る一方で、「宮笠」を守り伝える問坂さん、一之宮の自然や伝統にはなくてはならない「まちよな人」です。(山腰)

要な空気や水、太陽、それに他人様が作ってくれたいろいろな物のおかげで生活が成り立っているように思います。

また、こういう事もありました。

昔、長年の友人と子供についての悩みを話していた時、その友人は「そういう悩みは子供のおかげで親としての勉強をさせてもらえるんやで」と言いました。

これもまた『おかげさま』と気づかされた次第です。

このおかげさまという言葉の中には、特に神様、仏様への感謝の気持ちも強く含まれていると思います。

さて、水無神社の例祭も始まりました。長きに渡る伝統の祭りも時代の流れと共に少しずつですが変化しているのではないのでしょうか。

しかし、神様に対する畏敬の念は昔のままでありたいものですね。



交流館図書室で

川-エッセイ 13

おかげさま

青山 英彦 さん

(まち協文化教養部副部長 洞下)

私の好きな言葉の中に『おかげさま』があります。何と優しくて心地よい言葉なのでしょう。

私は、そのおかげさまをもって生かされてきたと信じています。

今年、私は古希となりますが、今までに二度ばかり、あの川の一步手前まで行ってきました。戻ってくるたびに、私はまだ生かされている！と実感させられ今日に至っています。

これこそ、おかげさまの極みではないのでしょうか。

日々の暮らしの中では、「今日はええ天気やね」といえば「おかげさまで」、「しばらくぶりやね、どお？」と訊けば「おかげさまで元気にやっています」などと、何かとこの『おかげさま』の言葉が使われ、私たちの生活の中に息づいています。また、私達が生きていくのに必



このすけ 晃之亮くん 平成26年2月19日生まれ

お父さん:中藪 和基さん
お母さん:中藪 代央子さん《山天下》

ぼくのなまえ☆わたしのなまえ

日の光のように周りを明るくできる子になってほしい、周りの仲間を助けてあげられる子になってほしいという思いを込めてつけました。

最近、暖かくなってきたので毎日のように近所を散歩しています。一緒にきれいな花を見つけたり、追いかけてつっこをしたりして遊ぶのが大好きです。

歌を歌うのも好きで、季節の歌や、大好きなアンパンマンの歌を家族に大きな声で披露してくれます。

思いやりの心をもって、元気いっぱい大きくなってくれるのが楽しみです。

『ぼくのなまえ☆わたしのなまえ』に紹介するお子さんを募集しています! 詳しくは、まち協事務局(公民館内) ☎53-2424 までお気軽にどうぞ!!

お知らせコーナー

■狂犬病予防注射のご案内
 狂犬病の予防注射が下記の通り行われます

- ◆日にち：5月10日(火)
- ◆料金等：3,150円(新規登録の場合は別に登録料3,000円)
- ※犬を登録している飼い主の方へは高山市より案内のハガキが発送されています。
- 場所・時間等詳しくは一之宮支所地域振興課(☎53-2211)までお問合せください。



■第5回飛騨高山ウルトラマラソン「救護所・食料補給所」のボランティアスタッフ募集!!

今年5回目となるウルトラマラソン。一之宮地域が担当する「救護所・食料補給所」のボランティアスタッフを募集します。ご協力いただける方は一之宮支所基盤産業課(☎53-2211)までご連絡ください。

- ◆日にち：6月12日(日)
- ◆場所：岩滝公民館
- 6:30一之宮支所集合、14:30解散予定



■ご声援よろしくお祈いします!

「全国河川遡行クラブ」が5日に宮川遡行

全国の一級河川を河口から源流まで川に沿って歩く活動をしている『全国河川遡行クラブ』約70名の皆さんが5月3日～5日まで「神通川を源流まで歩こう」と宮川源流を目指します。5日午前中には一之宮地域を歩かれますので、ご声援や声掛けをよろしくお祈いします。



「トレラン」ってなに? (1) 山本 茂

今年10月22日に、「第1回飛騨山トレイル大会」が一之宮町で開催されるにあたり「トレラン」について2回にわたり前宮中学校長の山本茂氏に解説してもらいます。

「トレラン」とは、トレイル(登山道など舗装されていない起伏のある自然の路面)を走ることです。陸上競技場や道路とは異なる大自然の景観を楽しみ、石、土、木の根などの危険物を避けながら進みます。トレランのレースは、最近日本でもマラソン大会に匹敵するほど数多く行われるようになり、地域の活性化にもつながっています。

山の中を走るスポーツなので体力や技術が必要ですが、趣味の登山、ゆっくりランニング、フルマラソンのための練習など、楽しみ方は様々。重要なのは、山を走ることが楽しいということです。

私もトラックや駅伝の時はタイムや順位で評価され辛い思いがありました。走ること自体を楽しんでいなかったと、山を歩き走って走って気づきました。山を歩き走っている時は勝ち負け関係なく、それ自体が楽しいです。目的地に着いた時には、今までのこだわりが小さく見えました。自然が好き、遠足も好き。その2つが一緒になって「トレラン」だと発見し、これは自分でもいけると思いました。

いつも走っている道路を外れ、公園や土手の上を走ってみます。土の窪みや盛り上がり、張り出した木の根などの障害物がいつものランニングとは違う刺激を与えてくれます。身体のバランスを取ることを求められ、障害物をクリアするために路面に意識を集中します。これだけでも、ちょっとしたトレランの感覚が味わえます。

里山や低山、山道の上り下りをするようになると、より複雑な足運びやペースのコントロールが必要になります。上りではどこから歩きに足を切り替えるのか? できるだけブレーキをかけずに速く、効率よく下りを駆けるには? トレイルならではの走り方のテーマがいくつも見つかります。

トレイルの楽しみ方にキマリはありません。ハイペースなハイキングのつもりで走るのもいいし、新しいトレイルを求めて初めてのコースを開拓するのも楽しいもの。もちろん、山岳レースで日頃からトレイルで磨いたテクニックと知識、持久力を発揮してタイムを競うのもその一つです。

図書館だより

図書館では日常の様々なシーンで役立つ実用書をたくさん取り揃えています。家庭や仕事に関する本のほか、野菜作りやガーデニングについての本もありますので、ぜひご活用ください。

★「お弁当を作ろう」

新学期がはじまり、そろそろ遠足の季節がやってきます。初めてお弁当を作る方から、どんなお弁当にしようかいつも悩んでいる方まで、参考にしてみてください。本を集めました。



〈雑誌コーナーより〉
 新たに『Tanzan』(月2回発行)が仲間入りしました。

〈おはなし会のご案内〉

5月21日(土) 午前10時30分
 スタッフによる絵本の読み聞かせ・手遊び。折り紙は「こいのぼり」。申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

～公民館から～

■展示コーナー

臥龍桜日本画大賞展 高山市所蔵
 作品展 (5月下旬まで)

■5月の公民館定休日

2日(月) 4日(水・祝) 5日(木・祝)
 6日(木) 23日(月) ※2日を休館

し、第2月曜の9日は開館します。

■5月の位山交流館定休日

2日(月) 9日(月) 16日(月)
 23日(月)

5月の行事予定

日	2	10	12	13	20	21	22
曜日	月	火	木	金	金	土	日
行事内容	水無神社例祭	狂犬病予防注射(支所他)	行政相談・心配ごと	結婚相談(交流館)	まち協発進会	町内会長会(公民館)	女性部ボランティア活動

一之宮町の人口情勢

世帯数	809戸		
	年齢	男性	女性
0～14歳	184	157	341
15～64歳	676	712	1,388
65歳以上	346	462	808
合計	1,206	1,331	2,537

3 4月1日現在・単位：人

編集後記

まち協も新年度が始まりました。課題は多くの人の参加と若い年代をどう巻き込むかです。一之宮地区民の会費(3050円)と市の補助金によって運営されています。お金ばかりでなく、皆さん、何らかの形で参加をお願いします。また、広報へも情報提供や協力をお願いします。(山腰)

つばき

今年、臥龍桜が例年になく早い開花を迎え、桜祭りのイベントの時には残った花が一分咲き位になっていました。でも一方、千百年の命をつなぐ若葉が伸びてきています。臥龍桜の魅力は花だけじゃない!と思いませんか。私は「臥龍桜の見頃はいつですか?」と聞かれると「二年中です」と答えることにしています。新緑、紅葉、冬枯れ、それぞれの良さがあると思ってるから。そんなことを想うのは、アラフィフとなり人生の秋を迎えつつあるからかもしれません。(ていり)



大勢の人でにぎわった生きびな祭り



餅まきで
は、最後の
かますまで
投げられ、
観客が我先
にと拾いあつ
ていました。

「生きびな祭り」華やか
神社周辺を練り歩く
飛騨路に春を呼ぶといわれる水
無神社の「生きびな祭」が4月3
日に執り行われました。
この祭りは養蚕の繁栄や女性の
幸福などを祈念して始まった伝統
行事。天候が心配されましたが幸
い雨は降らず、周辺約1kmにわた
り行列が行われました。
祭りでは飛騨一円から選ばれた
9名の女性が左大臣、右大臣、内
裏、后、五人官女に扮し、一之宮
からは三木愛可さんが后を務めま
した。
今年の日曜日とあって、稚児も
50名を超える参加があり、見物に
は外国人も多く訪れてにぎわいを
みせていました。

**ママさんバレーが優勝
今月8日の県大会に出場**
2016年度ママさんバレーボー
ル春季大会飛騨地区予選会が4月
10日に下呂市で開催され、町内の
チーム「臥龍」がBランクで見事

集積場となった一之宮支所駐車
場には新聞紙や段ボールなどが山
と積み、次々と大型トラックに
積み込まれていました。
8月、11月にも資源回収が行わ
れますのでご協力をお願いします。

宮小中学校PTA主催の資源リ
サイクルが4月16日に行われ、冬
期間にたまった新聞や雑誌、段ボ
ールなどが多く集まりました。
この日は、両校PTA役員と子
ども会育成委員を中心に、小中
学校教職員も活動に加わりました。
児童・生徒たちも朝から各家庭を
まわり回収しました。

児童生徒も回収に参加
PTAが資源リサイクル



集まった回収品をトラックに積み込む参加者



お兄さんからメダルを掛けてもらいました

新しくみんなに仲間入り 保小中で入園・入学式



「臥龍」のメンバーの皆さん

優勝しました。
「臥龍」は町内の有志14人でつ
くるママさんバレーボールチーム
毎週木曜日に小学校等の体育館で
練習しています。
5月8日には岐阜メモリアルセ
ンターで行われる県大会に飛騨代
表として出場します。
県大会でもがんばってください。



2・3年生の合唱を聞く1年生

■宮保育園では5日に入園式が
行われました。新年少児20人には、
歌のプレゼントのほか、年長のお
兄さん・お姉さんから一人ひとり
にメダルが贈られました。
■宮小学校では6日に入園式が
ありました。今年の新一年生は21
人で、2年生が1年間の行事につ
いてアトラクション風に紹介し、

4月は門出の月。保育園や学校
でも子ども達が新しい一歩を踏み
出す入園・入学式が行われました。



2年生の説明を真剣に聞く1年生

今年「臥龍桜・桜まつり」が
4月13日から26日まで開催され、
24日の日曜日にはイベントも行わ
れ、多くの人でにぎわいました。
今年暖冬の影響で開花が早ま
り、祭り当初から多くの見物客が
訪れました。観光客のうち外人の
増加が最近の傾向で、臥龍公園で
は中国語や英語などの会話が聞こ
えていました。
24日は開花の最盛期を過ぎてい
ましたが、約1200人が訪れ、
桜の下で披露された浦安の舞いや
神代踊り、鬨鶏楽などを見て楽し
んでいました。



桜まつりで披露される神代踊り

臥龍公園に多くの観光客 24日は祭礼芸能など披露

楽しい学校生活をアピールして歓
迎しました。
■宮中学校の入園式は7日に行
われ、2、3年生が「この地球の
どこかで」を合唱して21人の新中
学生を歓迎しました。